

- 問1 2022年の民法改正によって成年年齢が引き下げられたことに伴い、高校の家庭科の授業では「資産形成」や「契約の重要性」についての学習が重視されるようになりました。この改正によって18歳から可能になったことと、引き続き20歳にならないと認められないことの組み合わせとして正しい説明を選びなさい。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 選挙権は18歳から与えられるが、クレジットカードの契約は20歳まで親の同意が必要である。 | 2. 公営競技（競馬など）は18歳から認められるが、飲酒と喫煙は20歳まで禁止されている。 | 3. 親の同意なしでの契約は18歳から可能だが、飲酒や喫煙は20歳まで禁止されている。 | 4. すべての国家資格の取得が18歳から可能になったが、裁判員に選ばれるのは20歳からである。 |
|---|---|---|---|
- 問2 警察官などかつては男性が中心だった職種でも男女がともに活躍する様子が見られるようになりました。このように、男女が互いに人権を尊重しつつ、対等なパートナーとして社会のあらゆる分野に参画することを目指して1999年に制定された法律はどれですか。 (2018年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|--------------|----------------|------------|
| 1. 育児・介護休業法 | 2. 男女雇用機会均等法 | 3. 男女共同参画社会基本法 | 4. 女性活躍推進法 |
|-------------|--------------|----------------|------------|
- 問3 1863年、南北戦争の激戦地であったゲティスバーグにおいて、「人民の、人民による、人民のための政治」という言葉で民主政治の理想を説いたアメリカ合衆国大統領は誰ですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|------------|----------|
| 1. ルーズベルト | 2. リンカーン | 3. ジェファーソン | 4. ワシントン |
|-----------|----------|------------|----------|
- 問4 1966年に国際連合で採択された国際人権規約の内容や性質について、正しい説明はどれですか。規約の一節には「人種、皮膚の色、性、言語、宗教、政治的意見その他の意見、国民的若しくは社会的出身、財産、出生又は他の地位によるいかなる差別もなしに、この規約において認められる権利を尊重し、かつ、確保することを約束する」と記述されています。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 世界共通の道徳的な目標を掲げたものであり、加盟国が人権を侵害しても国際的な批判を受けることはない。 | 2. 先進工業国のみに人権尊重の義務を課し、開発途上国の経済発展を優先させることを認めている。 | 3. 国際人権規約は世界人権宣言よりも先に採択され、その後の人権の定義を基礎づける役割を果たした。 | 4. 締約国に対し、管轄下にあるすべての人に対して差別なく権利を保障することを法的に義務づけている。 |
|--|---|---|--|
- 問5 かつて「白豪主義」という白人中心の移民制限政策をとっていたオーストラリアは、1970年代以降、政策を大きく転換しました。さまざまな文化背景を持つ人々が、それぞれの宗教、言語、習慣などの違いを互いに尊重し合いながら、対等な一員として共に生きていく社会を目指す考え方を何といいますか。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|-----------|----------|
| 1. 多文化社会 | 2. 同化政策 | 3. 単一文化社会 | 4. 情報化社会 |
|----------|---------|-----------|----------|
- 問6 共生社会の実現に向けた情報発信のあり方について、ユニバーサルデザインの観点から行われている工夫とその目的を説明したものとして、最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。 (2025年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 情報の正確性を期すために、すべての案内表示を公的機関が認めた難解な漢字と日本語のみによる説明に統一する | 2. インターネットを利用できない人々への配慮を打ち切り、すべての行政手続きをスマートフォンのみで完結するように設計する | 3. 高齢者や障害者のためだけに、専用の施設や製品を隔離して設計することで、一般の人との接触を物理的に遮断する | 4. 言葉が分からない人でも直感的に理解できるよう、トイレや非常口などの案内において図記号（ピクトグラム）を活用する |
|--|--|---|--|
- 問7 1970年代から1980年代にかけての日本の放送や情報化の歩みについて述べた次の記述のうち、1980年代後半の出来事として正しいものはどれですか。なお、1974年には石油危機の影響による省エネのため、深夜放送の自粛が行われています。 (2022年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-------------|--------------------|------------------|
| 1. 衛星放送の開始 | 2. ラジオ放送の開始 | 3. 地上波デジタル放送への完全移行 | 4. 札幌オリンピックの深夜放送 |
|------------|-------------|--------------------|------------------|
- 問8 インターネット利用者の増加と情報の有効活用についてまとめた発表メモにおいて、データの取り扱いに関する説明として最も適切なものはどれですか。なお、そのメモには個人情報保護の国際的ルールの必要性についても記されているものとします。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 情報の有効活用よりもプライバシーの秘匿を優先し、収集した購買データは分析を行わずに一定期間ごとにすべて消去する。 | 2. 個人情報の保護に関する国際的なルールを遵守しながら、蓄積されたデータを分析して消費者のニーズを商品開発に繋げる。 | 3. 情報の流出による被害を完全に防ぐため、インターネット上の買い物履歴などのデータを蓄積することを法律で一律に禁止する。 | 4. 消費者の利便性を向上させるため、本人の同意を得ることなく、あらゆる個人データを複数の企業間で自由に共有し活用する。 |
|---|---|---|--|
- 問9 社会生活において、施設や時間などの限られた資源を利用する際、特定の個人やグループが不当な不利益を受けないよう、誰もが同じ頻度や機会を得られるように調整・配分することを何といいますか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 多数決 | 2. 公正 | 3. 合意 | 4. 効率 |
|--------|-------|-------|-------|
- 問10 インターネットやテレビなどのメディアを通じて膨大な情報が発信される現代において、送られてくる情報をうのみにせず、多角的な視点からその内容が正しいかどうかを批判的に読み解く能力を何といいますか。 (2023年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|--------------|--------------|------------|
| 1. 情報公開制度 | 2. メディアリテラシー | 3. デジタル・デバイド | 4. 情報リテラシー |
|-----------|--------------|--------------|------------|
- 問11 非正規雇用で働く理由の調査において、女性は「家事や育児などの家庭の事情と両立しやすいから」という回答が約33%と高いのに対し、男性は「正社員として働ける会社があったから」という回答が女性より高い比率となっています。このような背景を踏まえ、1999年に制定された男女共同参画社会基本法が目指す社会の姿として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 育児や介護を行う労働者に対して、企業が休業制度を設けることを義務付け、離職を防ぐ社会 | 2. 賃金や労働時間などの労働条件の最低基準を定め、女性が深夜に働くことを原則として禁止する社会 | 3. 性別による固定的な役割分担意識にとらわれず、人権を尊重し合い、誰もが個性と能力を十分に発揮できる社会 | 4. 職場での差別をなくすために、全ての企業に対して管理職の半数を女性にすることを法律で義務付けた社会 |
|---|--|---|---|
- 問12 日本の議会や地方自治における意思決定の原則に関連して、十分に話し合いを尽くした後に多数決で物事を決定する場合でも、「少数意見の尊重」が求められる理由として最も適切な説明はどれですか。 (2025年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 最終的な決定を下す権限は、多数派ではなく専門的な知識を持つ少数の有識者のみに与えられているため | 2. 多数派の意見だけでは気づかない問題点が考慮され、より多角的な視点から質の高い解決策につながる可能性があるため | 3. 話し合いにかかる時間を極力短縮し、効率的に議決を進めることこそが少数意見への最大の配慮となるため | 4. 民主主義においては、少数の意見が常に多数派の意見よりも優先されなければならないという法的な決まりがあるため |
|--|---|---|--|